

平成31年春季全国火災予防運動に伴う消防訓練を実施

行田市消防本部

本年開催されるラグビーワールドカップ2019日本大会では隣接する熊谷市が会場となっており、また、来年には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催予定であり、世界各国からの宿泊客の増加が見込まれるため、当消防本部では平成31年春季全国火災予防運動の一環として平成31年3月7日（木）行田天然温泉ハナホテル行田において、はしご車を活用した消防活動総合訓練を実施しました。この訓練では、火災発生時の従業員による初動体制と宿泊客の避難誘導要領の確立を図るとともに、特定の中高層建物火災の防ぎよ要領の習熟及び指揮統制を強化し、有事の際の対応に万全を期することを目的として行いました。



消防団・消防署合同訓練を実施しました！

湖南広域消防局

湖南広域消防局中消防署は平成31年3月10日（日）に栗東市観音寺地先「平谷球場」付近一帯において、栗東市消防団、栗東市危機管理課、フォレストアドベンチャー・栗東及び滋賀県防災航空隊と合同訓練を実施しました。本訓練は春の火災予防運動の一環として、山林火災を想定したもので、山林火災における被害の軽減に努め、「災害に強い安全な地域」を目指すことを目的として実施しました。また、訓練終了後には機能別分団である金勝山林分団誘導のもと、栗東市消防団と合同で林道の山林パトロールを実施するなど、本訓練を通じて、栗東市消防団及び関係機関との連携強化を図りました。



消防通信 望楼 ぼうろう

現場指揮シミュレーション訓練を実施

守口市門真市消防組合消防本部

守口市門真市消防組合では、現場指揮シミュレーション訓練を実施しました。

隊長としての必要な基本的活動要領をもとに、実災害時の現場指揮技術及び情報収集能力や活動隊への情報伝達の向上を図ることを目的としています。

木造3階建専用住宅からの出火の想定をモニター上で表現し、建物状況及び延焼状況並びに人命危険情報等の共有を図り、各隊の任務の徹底を無線交信にて実施しました。



尼崎城において中・高層建物火災防ぎよ訓練を実施しました

尼崎市消防局

尼崎市消防局では、平成31年3月19日（火）、20日（水）の両日、尼崎城において、中・高層建物火災防ぎよ訓練を実施しました。尼崎城は、5階建全高約24mの天守閣として140年ぶりに再建されたものであり、当訓練は、「最上階から出火し、建物内に逃げ遅れた要救助者が取り残されている恐れがある。」という想定のもと実施しました。訓練当日は、不特定多数の入場が予想される施設内での人命救助及び消火活動のほか、はしご車による活動等、各隊の連携強化を図るとともに、訓練実施後には、今後の消防活動を効果的に行うため、尼崎城の内部構造や消防用設備等について確認しました。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】